

健康アプリ「#2961ウオーク」完成 2月18日記念イベント開催

市民の健康増進や企業・事業所の健康経営を支援するため、スマホなどで簡単に健康が管理できるアプリ「#2961ウオーク」を開発

袋井市が抱える健康課題の1つ「糖尿病」の発症を抑制するため、働き盛りの世代をターゲットに普及を図る

2月18日にはアプリ完成を記念しイベントを開催、平成33年度までに利用者5000人を目指す

袋井市では、平成29年度から、個人や地域における健康づくりに加え、働き盛り世代の健康増進を図るため、市内の企業や事業所での健康経営を推進するとともに、平成18年度から開始した「フッピー健康ポイント事業」をリニューアルし、歩くことを主体にスマートフォンなどで手軽に利用できる健康アプリケーション「#2961ウオーク」を開発しました。このアプリを活用し市民や企業の健康づくりをサポートします。

【ロゴデザイン】



こちらのQRコードから画面デザインをご覧くださいませ→



1 アプリの特徴

(1) 歩数を自動カウント・送信

スマホ内蔵機能により自動的に歩数をカウント、アプリ立ち上げと同時に歩数情報をサーバーに送信、個人データに反映。

(2) マイページ機能で自身の健康状態を記録

歩行記録以外にも、自分で立てた運動や食事に関する目標の達成状況、体重や血圧、健診結果など日々の健康状態なども入力可能。アプリ一つで健康管理ができる。

(3) グループ機能

職場内などでグループを作りグループ内やグループ対抗で歩数を競うことができる。企業や事業所の健康経営につなげることも。



(4) ウォーキングコースを地図情報で掲載

市内28箇所のウォーキングコースを、地図情報を用いて紹介。
居住地や体力などに合わせて選択できる。

(5) 写真やコメントを「ギャラリー」にアップ

ウォーキングに出会った景色や物をスマホで写真に撮りギャラリーにアップ。
互いに情報をシェアすることで仲間意識を高め、健康づくりが持続するよう工夫。

(6) ポイント交換からクーポン券GETまで画面上で完結

市内店舗などで活用することができる健康ポイントも歩数から自動換算。
すべてをスマホ画面上で完結するため利用者、協賛企業の負担を軽減。

2 ポイントの利用

貯めたポイントは、システム上で市内の飲食店や公共施設などクーポン券と交換や、保育所や幼稚園、小中学校などへ寄附することができる。

自身の健康づくりに取り組みながら地域経済の活性化や教育環境の充実などに貢献。

3 「#2961健康UPデー」開催

(1) 日時

平成30年2月18日（日）午前9時30分から午後2時まで

(2) 会場

メロープラザ（袋井市浅名1027）

(3) 内容

- ・ #2961 ウォークの紹介
- ・ 講演会 講師：東京都健康長寿医療センター研究所
老化制御研究チーム副部長・運動科学研究室長 青柳幸利氏
演題：「1日8000歩・速歩き20分」が健康長寿のカギ！
ガンや認知症など生活習慣病全般を防ぐ奇跡のウォーキング
- ・ 団体、企業等によるブース出展、販売
健康測定、袋井の新名物！「袋井（ふくどん）」試食会、ふわふわ
映画上映会「いただきます～みそをつくるこどもたち～」 など

(4) 主催

袋井市、公益財団法人 健康・体力づくり事業財団